

持続可能な発展を導く科学技術人材育成コンソーシアム GSC 広島  
～世界を舞台とした教育プログラムと地域の産学官連携による人材育成～

○ステップステージ第五回セミナー（生物分野）

開催日時：令和元年10月22日（火・祝）10：30開始

場所：広島大学東広島キャンパス **情報メディア教育研究センター本館**

アクセス：

[https://www.hiroshima-u.ac.jp/access/higashihiroshima/busstop\\_higashihiroshima/aca\\_7](https://www.hiroshima-u.ac.jp/access/higashihiroshima/busstop_higashihiroshima/aca_7)

※ 開始時間に間に合わない場合、欠席の場合は10/18（金）までにお知らせください。

■受付開始（10：00～）【情報メディア教育研究センター本館】

■情報リテラシー（10：30～11：30）

講師：隅谷 孝洋 准教授（情報メディア教育研究センター）

テーマ：「統計的仮説検定入門」

実験などで得られたデータについて、それらのグループ間の差や散らばりなどが偶然のばらつき以内のものであるか、それを越えたものかを判断するための目安となる統計的仮説検定の考え方について学ぶ。基本的な考え方と、平均値の差や比率の差などいくつかのパターンについて実際にどのように計算するのか、Excel や統計分析ソフトを用いて実習する。

■英語によるポスター指導（11：30～12：30）

講師：Christopher Knobler 講師（広島大学大学院理学研究科客員講師）

概要：異分野合同シンポジウムにおけるポスター発表について、研究内容発表における英語表現などについて学びます。

準備：研究（もしくは研究計画）における目的や方法などの内容についてあらかじめ英語にて発表できるように準備をしてきて下さい。

■昼食（英語サロン、留学生との交流）（12：30～13：15）

■分野別セミナー（13：30～17：00）

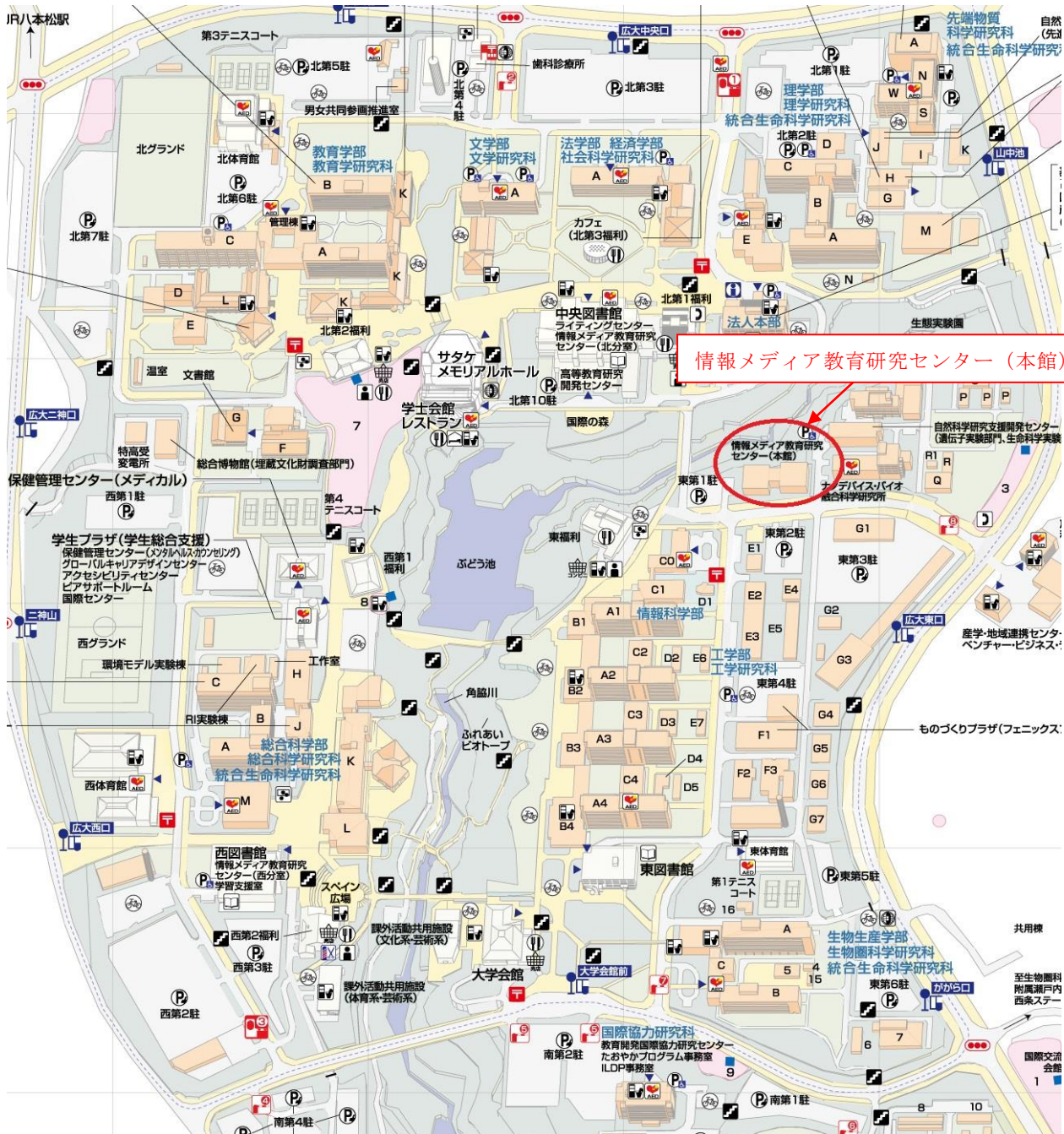
講師：西堀 正英 准教授（広島市立大学情報科学研究科）

テーマ：「遺伝子（DNA）解析を理解し、使いこなす～食品素材としてのお肉の種判別～」

場所：広島大学生物生産学部 A 棟 3 階 A-312 学生実験室

概要：DNA 解析技術を使って、食品やお肉の素材、動物種判別を行います。そのためには、DNA の構造とその特徴を理解し、その特徴を基に PCR (Polymerase Chain Reaction) の原理と仕組みを理解する。PCR 生成物を、電気泳動法を使って視覚化し、評価する。そのために電気泳動法の原理と仕組みを理解する。それぞれの方法を使って食材の DNA による種判別を実施、体験するとともにその原理を理解する。食品表示と DNA 種判別結果を比べ、受講生全員で議論する。

参考書：高等学校で使用している「フォトサイエンス生物図録（数研出版）」「スクエア最新図説生物（第一学習社）」など図書館や生物教室でも探して一度は見て来て下さい。



**【連絡事項】**

- セミナー中に写真やビデオ撮影を行います。写真やビデオは、GSC 広島ホームページや報告書に掲載される場合があります。
- 昼食の持参をお願いします。キャンパス内の食堂は営業していませんので、ご注意ください。
- 弁当のごみは持ち帰ってください。

**【持参物】**

- 筆記用具，実験ノート，名札，昼食

**【お問合せ先】**

広島大学 高大接続・入学センター

担当：中村，伊藤

T E L : 082-424-6172

E-Mail : nyusi-kodai@office.hiroshima-u.ac.jp

当日緊急連絡先：090-8628-3867